



そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban

毎年この時期になると同じ事を言っているような気がします、あっという間に今年も残すところあと1か月。

新型コロナウイルスも決して収束したわけではないと思いますが、一年前と比べると確実にトンネルの出口が近づいているように感じます。コロナ前の当たり前の日常が一刻も早く戻ってきて欲しいものです。

これからが本格的な冬の到来。風邪やインフルなどにも十分に注意して寒い冬を乗り切っていきましょう☺



チャレンジ! 読み上げ算 English

11月半ばより東三競技大会の開催に合わせて読み上げ算(そろばん・あんざん)の練習を開始しました。多くの方がご存じでしょうが、読み上げ算とは、他者(先生)が読み上げる見取り算(足し算・引き算)を計算していく種目です。けた数や口数は大会によって異なりますが、東三大会ではそろばんが10口、あんざんが5~10口となり、けた数は問題に応じて少しずつ増えていく形式です。(ただし今回の東三大会は各教室ごとの開催ということもあり読み上げ算は競技種目ではありません。当塾内のみの実施となります。)

何とんでも読み上げ算にはもの凄い集中力が必要。普段のテキストに書かれてある数字を目で追いかけて処理していく方法とは違い、耳からインプットされる数字を次々に処理していくので、ほんの一瞬でも気を抜いて数字を聞き逃してしまうとその時点でジ・エンド。もうやり直しは出来ません。

そして、今回からトライアルとして英語読み上げ算にも挑戦しています。日本語版の読み上げ算とは少しルールが異なりますので最初は混乱しそうですが、少しずつ前進していきましょう。

▽ ▲ ▽ 日本語版と英語版との読み上げ算ルールの違い(主な大会での共通ルール) ▲ ▽

	日本語	英語
読み始め	願ひましては~	Start with~ (スタートウィズ)
各数字のあと	〇〇円(ドル)なり	数字の後は何も言わない
引き算	連続する引き算は最初の数字だけに'引いては'をつける。(次に'加えて'が出てくるまでは引き続ける)	全ての数字の前にMinus(マイナス)をつける
引き算の後の足し算	加えて~	Minus(マイナス)がつかない数字は全て足し算となる
最後の数字	〇〇円では!	最後の数字の前にAnd(アンド)をつける

*読み上げ算には昔からの名残で幾つか独特な表現があります。◆願ひましては…「読み上げ算」を始めるときの決まり文句。「これから始めますから願ひします…」という意味。◆御破算(ごはさん)…ソロバンに置いた珠をすべて払って何もない状態にするときに使う。二つを合わせて'御破算で願ひましては~'というときもある。◆ご明算(めいさん)…生徒の答えがあっているときにいうフレーズ。間違っているときは「ごめんなさい」と言われる場合もある(ウソです…笑!)

はじめて見取り算に挑戦する生徒は、日本語だけでも大変なのに、英語なんてとてもムリ…というネガティブな気持ちになってしまうかも知れませんが、最初は出来なくて当たり前。少しずつ練習を重ねていけば、日本語版も英語版も必ず上達していきますよ。肩の力を抜いて気軽に楽しみながら取り組んでいくのがコツ。

(英語の場合は読み上げられる数字をその都度、アタマの中で英語から日本語に変換していたら時間的に間に合いません。まずは英語の数字に慣れていくことが最初のステップ。)

裏面に読み上げ算のサンプルを掲載しました。時間のある生徒はお家でも家族のかたに読んでもらって練習してみるのも良いかもしれません。

また、今回は英語版読み上げ算など初の試みということもあり、練習対象者を競技会参加者のみとしていますが、今後は対象生徒をもう少し広げたいので定期的な読み上げ算大会などの開催も予定しています。開催時期や方法などの詳細は今後考えていきますが、チャンスがある生徒は積極的に参加して下さい。